



買い物客でにぎわう中央通り商店街

縁起物などが立ち並ぶ

新春恒例の十三日市が開催される

新春恒例の初市「十三日市」は1月13日、中央通り商店街で開かれました。オープニングセレモニーでは、神事、鏡開きや猪苗代芸能保存会による太鼓の演奏の後、先着150人に福袋がプレゼントされました。通りには起き上がり小法師やだるまなどの縁起物や飲食物の露店が並び、多くの人でにぎわいました。町内の小学校の児童たちも十三日市に訪れ、起き上がり小法師などを買い求め、初市を楽しみました。

道の駅猪苗代 10 万人を突破

節目を祝い記念セレモニー

道の駅猪苗代の来館者数が12月20日、10万人を突破し、同所で記念セレモニーが行われました。10万人目となった郡山市の会社員、上森義雄^{かみもり じま}さんに猪苗代編の起き上がり小法師や会津塗の書類箱、いなわしろ天のつぶなどの特産品を贈り、節目を祝いました。上森さんは「ニュースでオープンしたことを知り、訪れてみたいと思っていましたが、10万人目と聞いてびっくりしました」と笑顔で話しました。



前後公町長から特産品などを受け取る上森さん(右)

町の教育振興のため

除夜の鐘つき実行委員会が町に寄付

除夜の鐘つき実行委員会は1月18日、教育振興協力金として町に11,173円を寄付しました。本町五区青年部の有志らがつくる同実行委員会は、昨年大みそかに亀ヶ城址の鐘つき堂で除夜の鐘つきを実施。除夜の鐘つきには約300人が訪れました。寄付金は鐘つきに訪れた人たちから寄せられたものです。贈呈のため町役場を訪れた渡部大介実行委員長は「町教育振興に役立ててほしいです」と話しました。



前後町長に寄付金を手渡す渡部実行委員長(右)

今年の無火災、無災害を祈願

町消防団出初式

町消防団出初式は1月6日、町内の諏訪神社で行われ、関係団体や消防団幹部など約50人が出席し、今年1年の無火災、無災害を祈願して玉串をささげました。

神事後、前後公町長が「町民の生命・財産を守るため、予防消防など消防団員の皆様のご協力をお願いします」とあいさつ。五十嵐正義団長が「地域住民の財産を守るため、消防活動の強化に務めます」と誓いを新たにしました。



玉串をささげる五十嵐団長(中央)



最優秀賞を受賞した高野さん(中央)

7 月開催の高校総体に向けて

空手道競技ポスター原画決定

平成29年度全国高校総体空手道競技の開催に向けて準備を進めている町実行員会は10月18日、県内の高校生から募集した競技別ポスター原画の選考会を学びいなかで開きました。審査の結果、保原高校2年の高野紀子さんの作品が最優秀賞に選ばれました。高野さんは「競技をしている選手の力強さを感じて、空手道競技の作品を描きました」と話しました。高野さんの作品は、空手道競技のポスターやプログラムの表紙となります。

小正月の伝統行事を体験

野口英世記念館で団子挿し体験

翁島小学校の1年生と3年生の児童23人は1月12日、野口英世記念館の野口英世博士の生家で、五穀豊穡や無病息災を願う伝統行事「団子挿し」を体験しました。野口英世記念会の八子弥寿男理事長のあいさつの後、児童は生家の居間に設置されたミズキの木の枝に団子や色鮮やかな縁起物のふなせんべいを飾りました。3年生の山崎晴香さんは「みんなで団子挿しができて楽しかったです」と話しました。



大きなミズキの木に団子を取り付ける児童



放水訓練を行う消防団員ら

火災から貴重な文化財を守る

文化財防火デー火災防御訓練

町内の貴重な文化財を守るための文化財防火デー火災防御訓練は1月22日、百日貫の公孫樹と地蔵堂で行われました。訓練には、消防団と消防署、地域住民ら約140人が参加し、文化財の搬出や放水などの訓練を実施しました。訓練終了後、前後公町長は「初期消火と皆さんの連携がいかに重要であることを再認識しました。1月から2月にかけて、火災が発生しやすい時期となるので予防消防に取り組んでほしい」と講評を述べました。

田澤久尔子さんが 100 歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

12月20日に満100歳の誕生日を迎えた田澤久尔子^{くじこ}さん(北高野)への賀寿贈呈式は同日、田澤さんの自宅で行われました。県会津保健福祉事務所の加藤清司^{けん}所長が、知事賀寿と会津漆器の木杯を贈呈。続いて大川原久夫副町長が賀寿と記念品などを手渡しました。長男の憲^{けん}さんは「長生きは皆さんの支えのおかげです。これからは母と一緒に101歳を目指して頑張ります」と謝辞を述べました。



加藤所長から知事賀寿を受ける田澤さん(右)